

ゆめ

令和5年7月7日

浜松市立熊小学校だより

〈発行者〉校長 二橋宏之

〈学校教育目標〉「ゆめ」に向かって たくましく生きる子供

〈清竜中学校区の目指す子ども像〉

自分のよさに気づき、他者とのかかわりを大切に、夢に向かって努力する子供



VUCA（ブーカ）の時代と熊小 身に付けたい4つの力

VUCAとは、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態を意味します。

※V(Volatility:変動性) U(Uncertainty:不確実性) C(Complexity:複雑性) A(Ambiguity:曖昧性)

気候変動・海洋汚染など環境破壊の深刻化、社会構造の変化（少子高齢化など）、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミック、デジタル技術の急速な進化、グローバル経済が引き起こす問題の複雑化、戦争など、すぐには解決したり、対応したりすることができない問題、事前に対策できない問題が山積しています。

6月2日の大雨は、予想を超える記録的な雨量となり、至る所に傷跡を残し、その影響は非常に大きいものとなっています。やはり、「気候変動」という言葉が頭をよぎりました。

しかし、今起きている多くの問題やこれからの不透明な未来にため息をついているばかりではいけません。熊小の学校教育目標は『「ゆめ」に向かって たくましく生きる子供』を掲げています。そして、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していけるように熊小では身に付けたい4つの力（『ひと』とかかわる力、『自分』を高める力、『チャレンジ』する力、『ゆめ』につなぐ力）を意識して教育活動を展開しています。

6月は特に『ひと』とかかわる力、『自分』を高める力を高めるために四小連合教育に参加しました。以下にその様子を紹介します。



1年生



2年生



3年生



4年生

同じ中学校区の仲間であるという意識を育てながら、『ひと』とかかわる力、『自分』を高める力を身に付けることができるように四小（熊小、上阿小、下阿小、二俣小）交流に参加しています。普段一緒に生活していない大勢の中に入っていくのは緊張します。でも、その場に行き、交流する中で次第に心がほぐれ、活動を楽しむことができました。

（※4年生は熊小学校が会場となっていたのですが、6月2日の大雨の影響により、二俣小児童を運ぶバスが来られないため二俣小に会場が変更となりました。また6年生は天竜ボート場でのナックルフォア体験をする計画でしたが、天竜ボート場被災のため、交流活動ができませんでした。）



5年生

2学期に交流活動を設定することができるように現在準備中です。

6年生

子供たちの様子 学校の様子（6月）



6月2日休校 オンラインで状況確認と学習活動



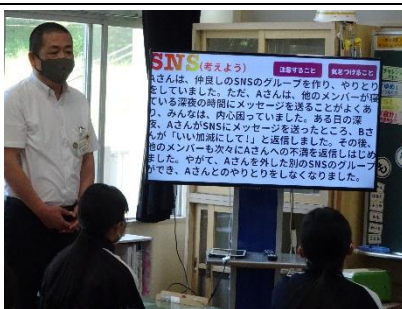
プール開き 子供たちの歓声が水面に響きました。



幼小交流 さつまいものつるさし 大きなおにもに育ちますように。



6年生社会 ヒラシロ遺跡見学 火起こし体験もしました。



5・6年情報モラル講座(参観会) 保護者と一緒に受講しました。



学校保健委員会(参観会)「気持ち」の伝え方について学びました。



4年生社会 上下水道課の職員さんに教えていただきました。



3年生社会 農家の仕事について教えていただきました。



四小交流活動に向けてオンライン交流をして安心感を高めました。

わくわくフェス

6月17日(土)参観会の日、わくわくフェス(親子ふれあい交流)を開催しました。このわくわくフェスは、5・6年生が交流ゲームの企画から運営まで全部自分たちで行いました。体育館にたくさんの笑顔の花が咲きました。5・6年生ありがとう!!



ゆめ講座 一輪車教室

6月30日(金)にプロ一輪車ダンスチーム「ユニサークルフロー」のキャプテン山本夏夢さんをお迎えし、一輪車教室を開催しました。先月までシルク・ドゥ・ソレイユ(於サウジアラビア)にも出演されていた山本さんの技は見事であり、子供たちはたくさんの刺激を受け、気合いが入りました。



熊小HP QRコード
子供たちの毎日の様子をご覧くださいませ。

